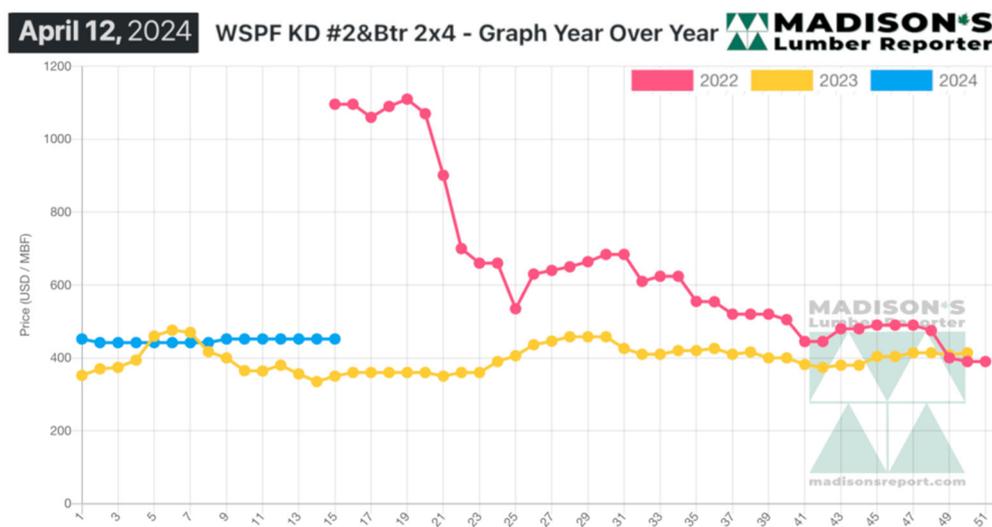


米国木材市場情報レポート

木材市場は停滞、価格は安定を維持

顧客は、4月中旬になると木材を大量購入せず、当面の必要量のみを購入する傾向にあり、これが習慣化してきている。過去、この時期には木材の季節的な補充が秩序正しく行われてきたが、冬の終わりが遅かったことや、最近のヨーロッパ大陸全体の厳しい天候により、現場の建設作業が遅れている。さらに、金利や住宅着工数など、より大きな経済の不確実性により、木材の買い手は引き続き慎重に構えている。



現在、人々は一般的に在庫を増やすことに対してためらいがちである。経験豊富な業界関係者は、建設活動が突然増加した場合、サプライチェーン全体で木材供給が大幅に不足しているため、問題が発生する可能性があるかと警告している。極端な変動と前例のない高価格が過去のものとなったため、今年のトレンドを予測することは不可能であっても、価格変動の前年比傾向を知れば現在の市場の動きを推察することはできるだろう。

上記の図表情報は、「Madisons Lumber Report」より抜粋